

# 宮崎県椎葉村尾前方言の 韻律について

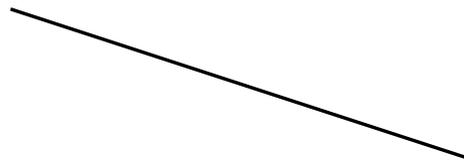
九州大学/JSPS

廣澤尚之

# 要旨

椎葉方言は無アクセント方言だが、ピッチパターンに一定の制約

1. 語は単独発話ではHL（下降調）またはLevel（平板）



下降調 (HL)

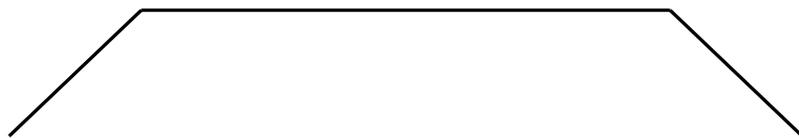


平板調 (Level)

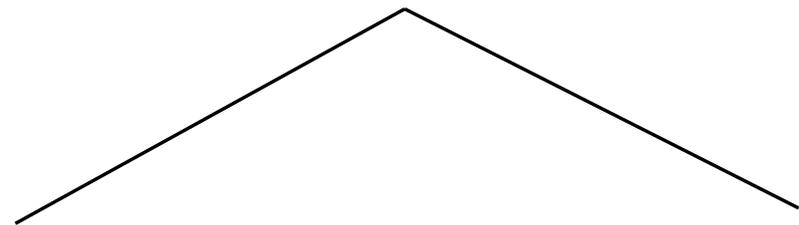
# 要旨

椎葉方言は無アクセント方言だが、ピッチパターンに一定の制約

2. 複数の語から成る構造体では、台形音調と山型音調



台形音調

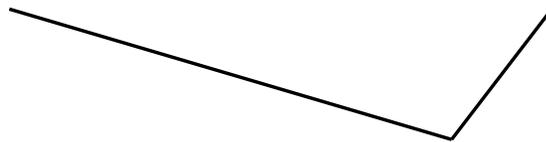


山型音調

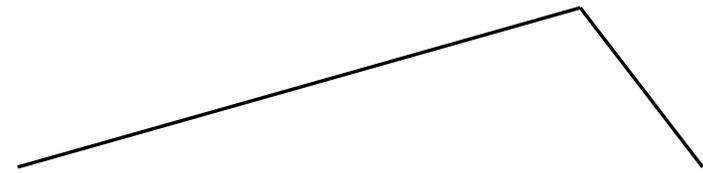
# 要旨

椎葉方言は無アクセント方言だが、ピッチパターンに一定の制約

3. 焦点は項では文節末の卓立、述語では末尾にかけての長距離上昇



項焦点



述語焦点

# 1. 無アクセント

# 無アクセント方言

アクセント：語彙的に指定された  
ピッチ（上野1989）

東京方言：雨（HL） vs. 飴（LH）

## 無アクセント方言

- ピッチの実現の仕方にばらつき。  
アクセント語類で一般化できない。

語類	語彙	単独読み上げ		
		Mさん	Cさん	Fさん
1	魚	HL	HL	HL
1	梅	HL	HL	Level/HL
1	棚	HL	HL	HL
2	岩	HL	HL	HL/Level
2	川	HL	HL	HL
2	雪	HL	HL/LH	HL/Level
3	穴	HL	HL/Level	HL
3	弓	HL	HL/Level	HL
3	芋	HL	HL	HL
4	罌	HL/Level	HL	HL
4	糸	HL	Level/LH	Level/HL
4	粟	HL	HL	HL
5	鍋	HL/Level	Level	HL
5	桶	HL/LH	LH	LH
5	足袋	HL/LH	Level/HL	HL/Level

## 2. 語のメロディと韻律解釈

# 語のメロディ

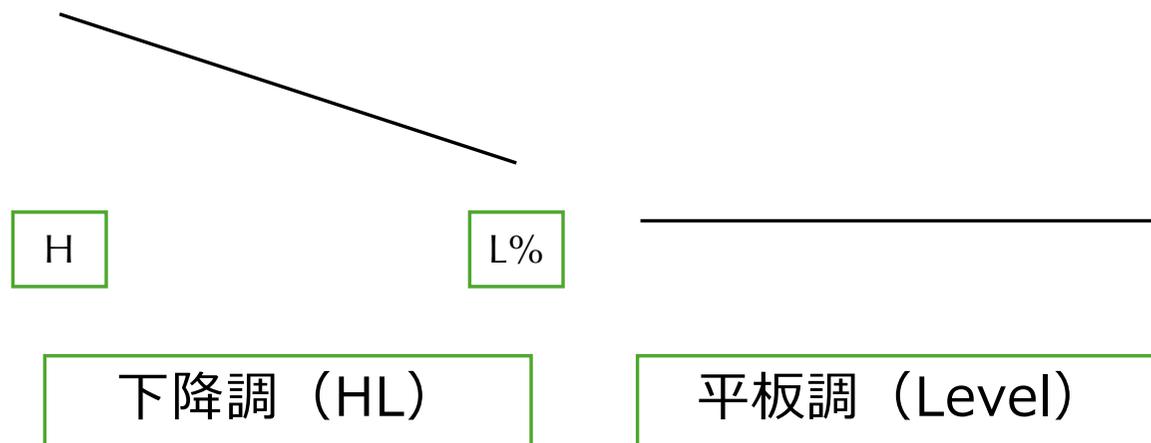
- 人名読み上げ調査
  - 拍数を変数とする (2~4拍)
  - 各拍につき20語 (+5拍語6語) をランダムで提示 (文字刺激)
  - 80代女性話者Mさんに実施

(2拍語及び3拍語の普通名詞でも同様であることを確認済み)

2拍語					3拍語					4拍語					5拍語														
L1	や	す	L11	ヒ	口	L21	た	ろ	う	L31	エ	リ	カ	L41	ま	さ	ひ	ろ	L51	と	し	ゆ	き	L61	エ	リ	ザ	ベ	ス
	H	L		H	L		H		L		H		L						L51		H		L	L61					H
L2	ミ	カ	L12	ナ	オ	L22	ア	ヤ	カ	L32	ジュ	ニ	ア	L42	エ	ミ	リ	ー	L52	ひ	ろ	ゆ	き	L62	ア	ン	ト	ニ	オ
	H	L		H	L		H	L	H		H		L		H			L	L52	H			L	L62			H		L
L3	リ	オ	L13	サ	ラ	L23	ユ	ウ	タ	L33	ノ	ゾ	ミ	L43	ユ	ウ	ス	ケ	L53	ジュ	ン	ペ	イ	L63	セ	バ	ス	チャ	ン
	H	L		H	L		H		L		H		L		H			L	L53	H			L	L63		H			L
L4	ケ	イ	L14	ジュ	ン	L24	ミ	サ	キ	L34	カ	ズ	キ	L44	ア	ヤ	ノ	リ	L54	や	す	み	つ	L64	ビ	ク	ト	リ	ア
	H	L		H	L			H	L		H	L	H			H		L	L54		H		L	L64			H		L
L5	ユ	ウ	L15	エ	ア	L25	ケ	ン	ト	L35	レ	ナ	タ	L45	い	ち	ろ	う	L55	カ	ズ	ヒ	口	L65	オ	ー	ス	ティ	ン
	H	L		H	L		H		L		H	L	H			H		L	L55		H		L	L65		H			L
L6	ノ	リ	L16	タ	ク	L26	ナ	ナ	ミ	L36	サ	ト	シ	L46	さ	ぶ	ろ	う	L56	と	し	み	つ	L66	ア	ン	ソ	ニ	ー
	H	L		H	L						H		L		H			L	L56		H		L	L66	H				L
L7	ア	ミ	L17	リ	ン	L27	ショ	ー	ゴ	L37	は	な	こ	L47	ミ	カ	エ	ラ	L57	と	し	ろ	う						
	H	L		H	L		H		L		H		L			H		L	L57		H		L						
L8	シ	ン	L18	カ	イ	L28	リ	サ	コ	L38	テ	ツ	ヤ	L48	シュ	ー	ヘ	イ	L58	と	し	ぞ	う						
	H	L		H	L			H	L		H		L			H		L	L58		H		L						
L9	レ	オ	L19	ぬ	い	L29	ヒ	ナ	タ	L39	リ	オ	ナ	L49	マ	イ	ケ	ル	L59	て	つ	ろ	う						
	H	L		H	L		H		L		H		L		H			L	L59		H		L						
L10	マ	オ	L20	ト	ム	L30	マ	サ	ト	L40	ト	モ	エ	L50	ヒ	口	ユ	キ	L60	と	も	ゆ	き						
	H	L		H	L				H		H		L			H		L	L60		H		L						

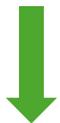
# 語のメロディ

韻律指定の種類	表記	指定箇所
句アクセント	H	語頭
境界音調	L%	語末

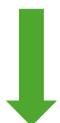


# 語のメロディ

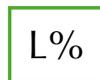
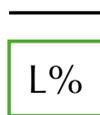
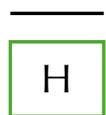
①Hが指定される



②語末にL%が指定される



下降調 (HL)



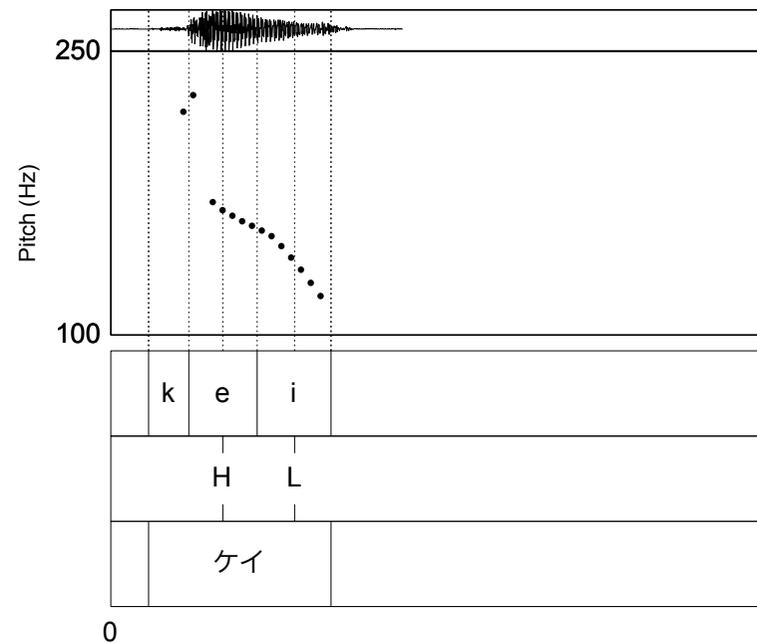
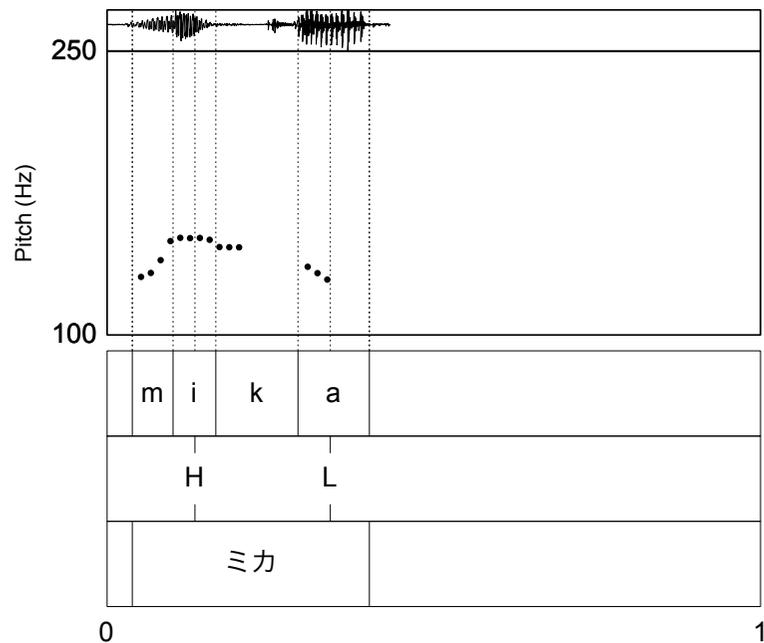
Hが未指定



平板 (Level)

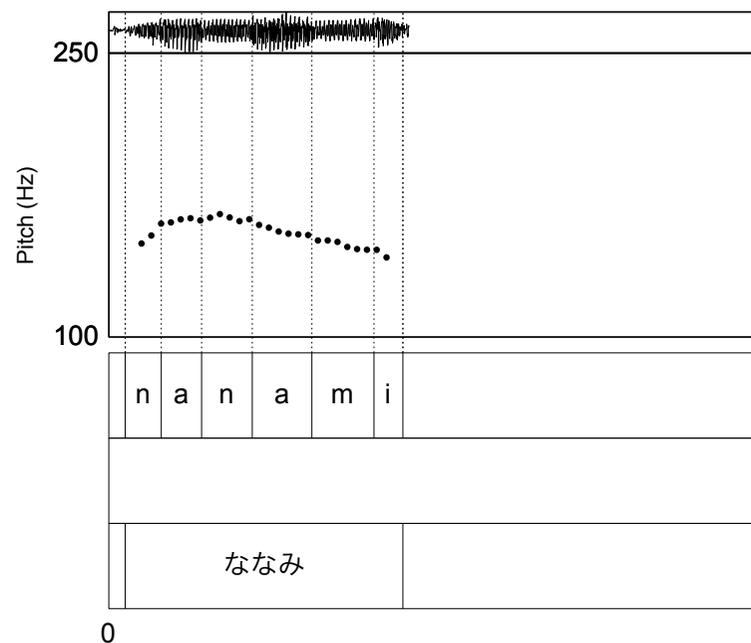
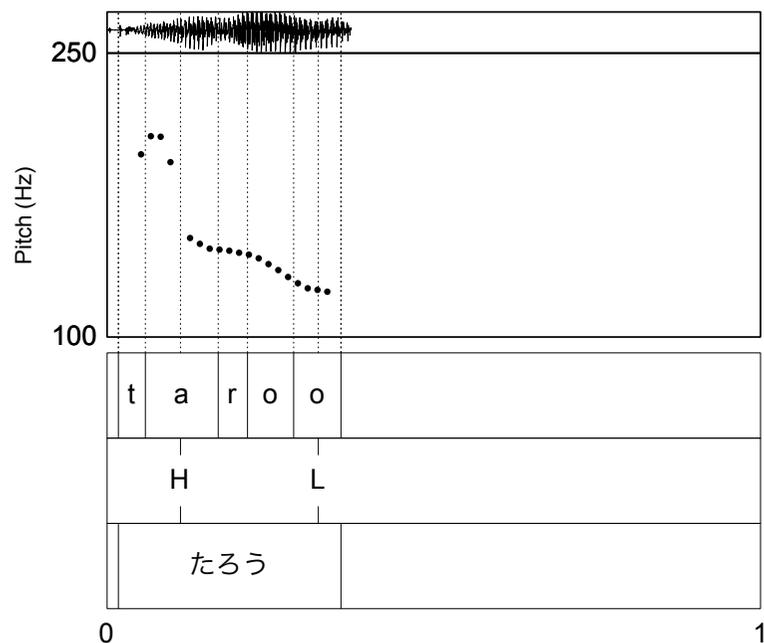
# 2拍語

- HLで実現した例（平板は人名調査では出現せず）



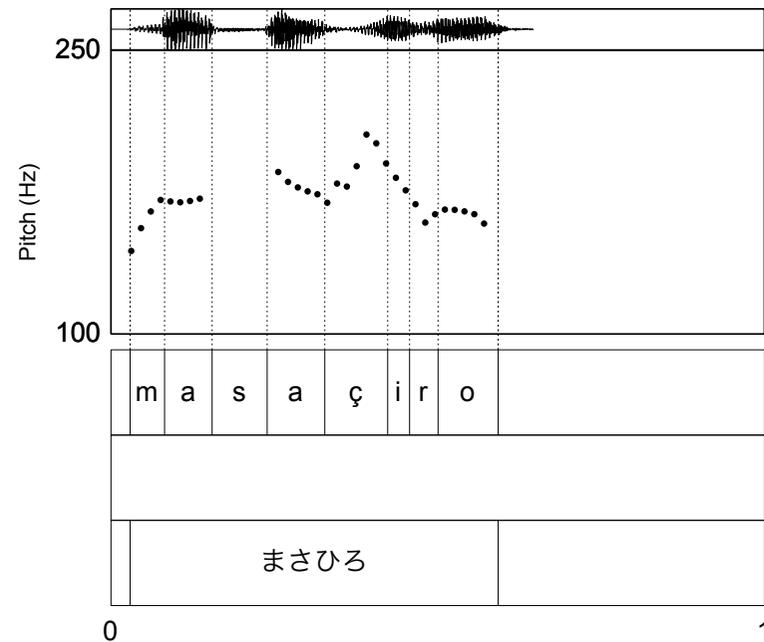
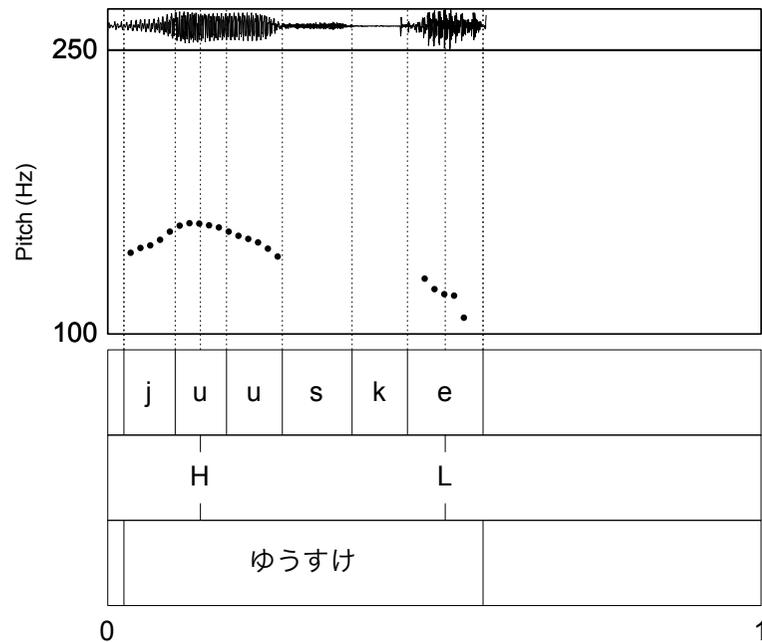
# 3拍語

- HLパターンと平板パターン



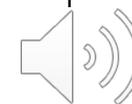
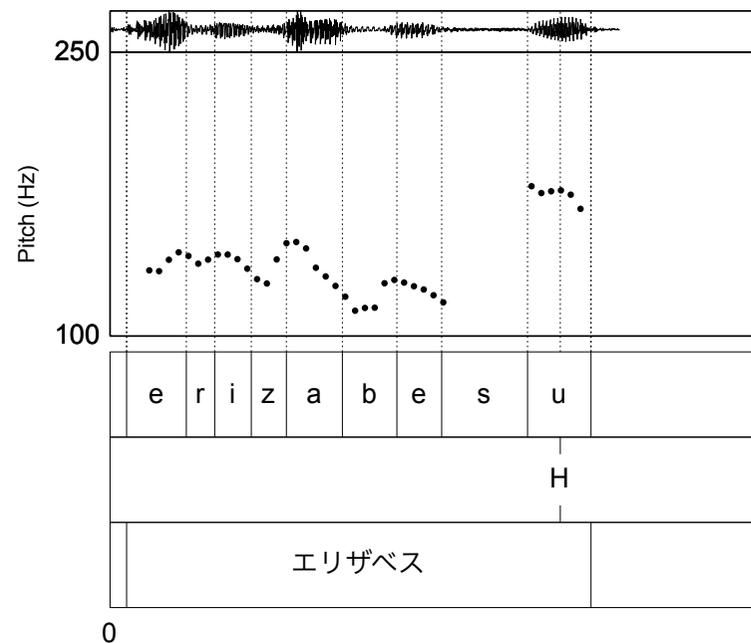
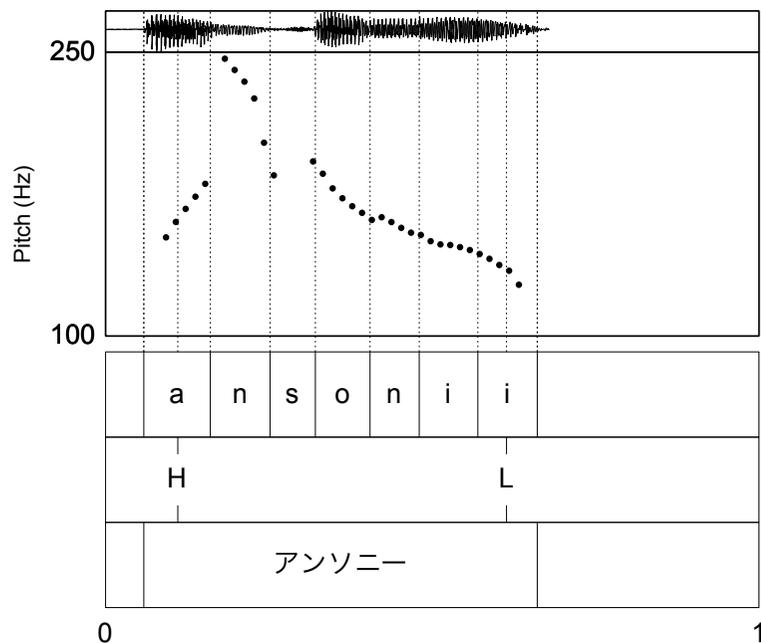
# 4拍語

## • HLパターンと平板パターン



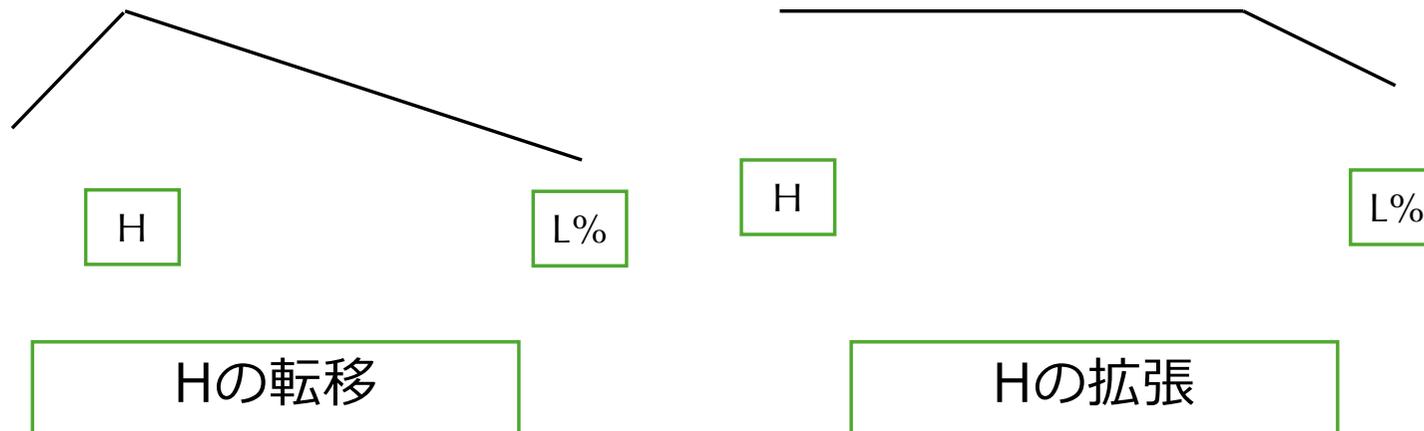
# 5拍語

## • HLパターンと平板パターン



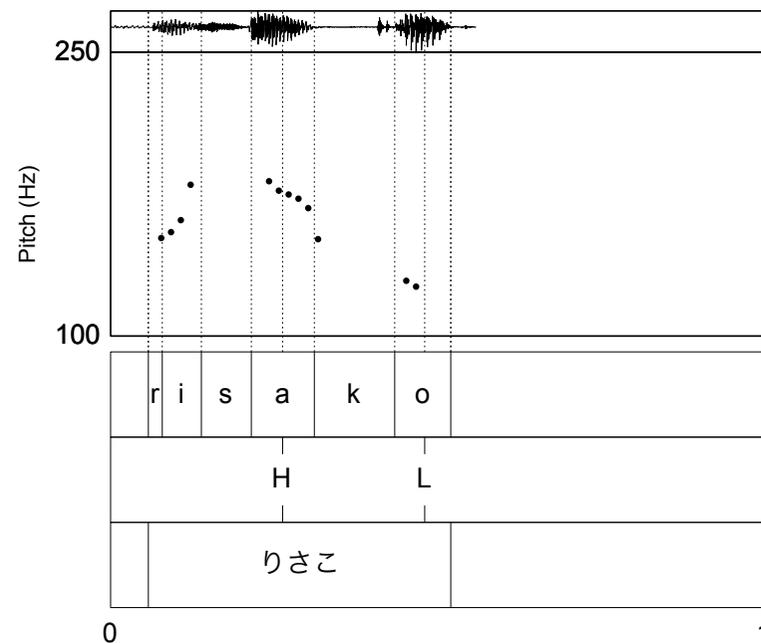
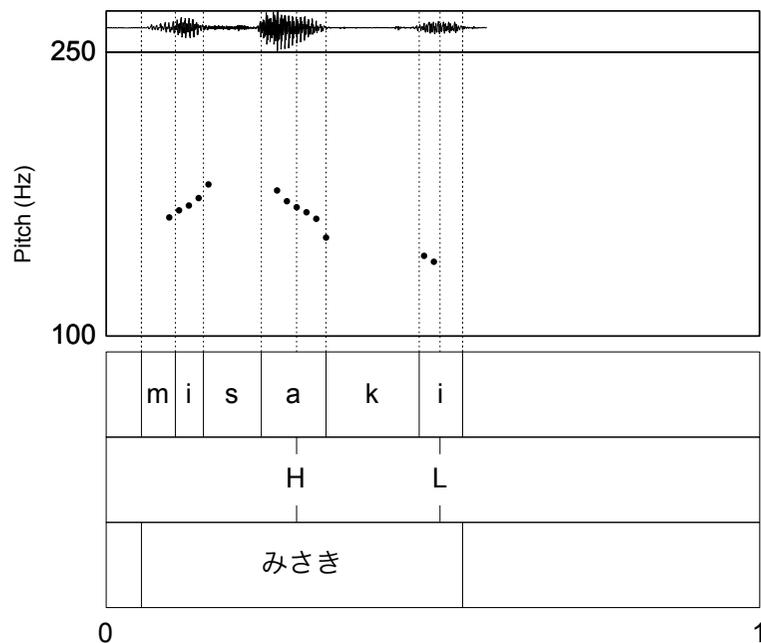
# Hの転移と拡張

- Hは次拍到転移 (Shift) する (1拍目はOCPによりL)
- Hは後続拍到拡張 (Spread) する



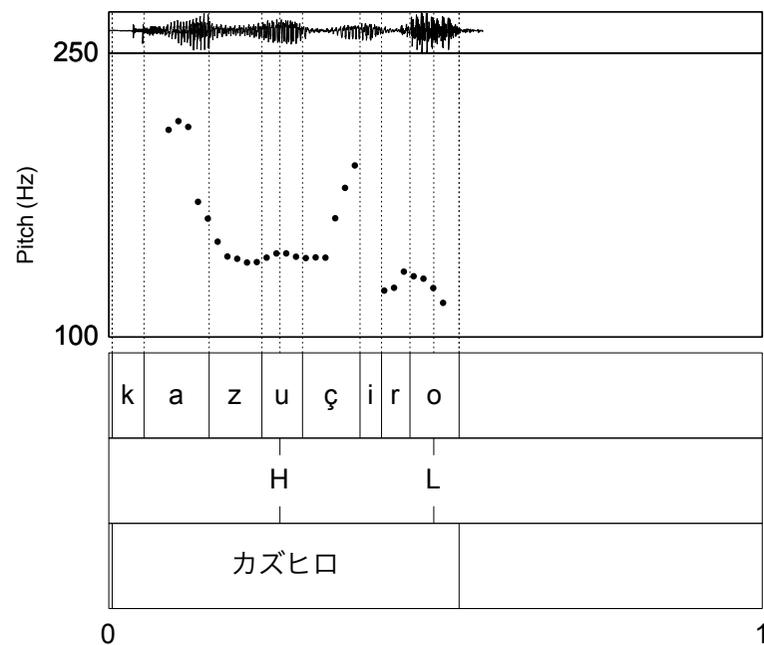
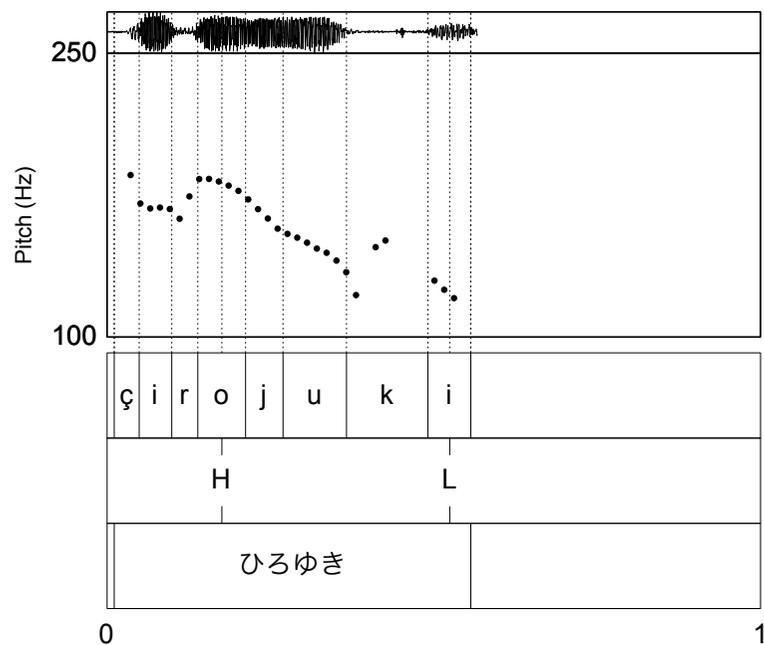
# Hの転移 (Shift) 3拍語

2拍目がH



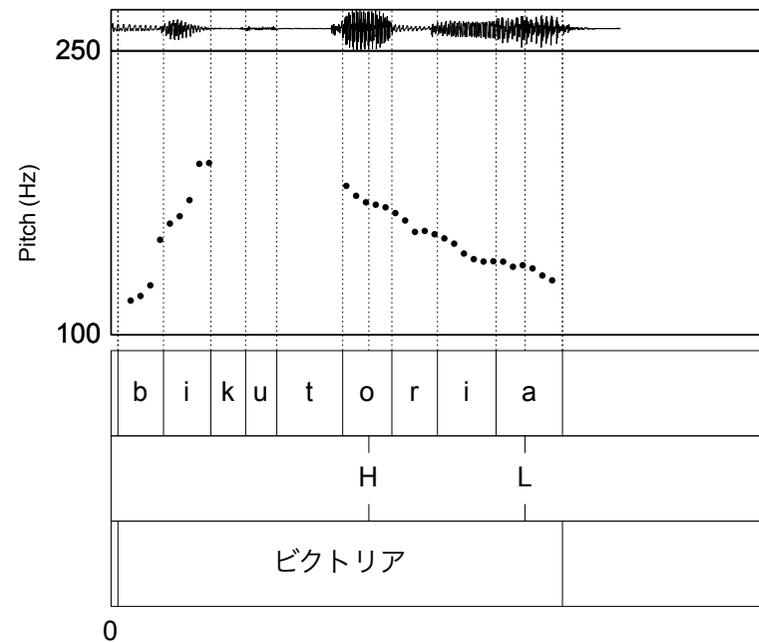
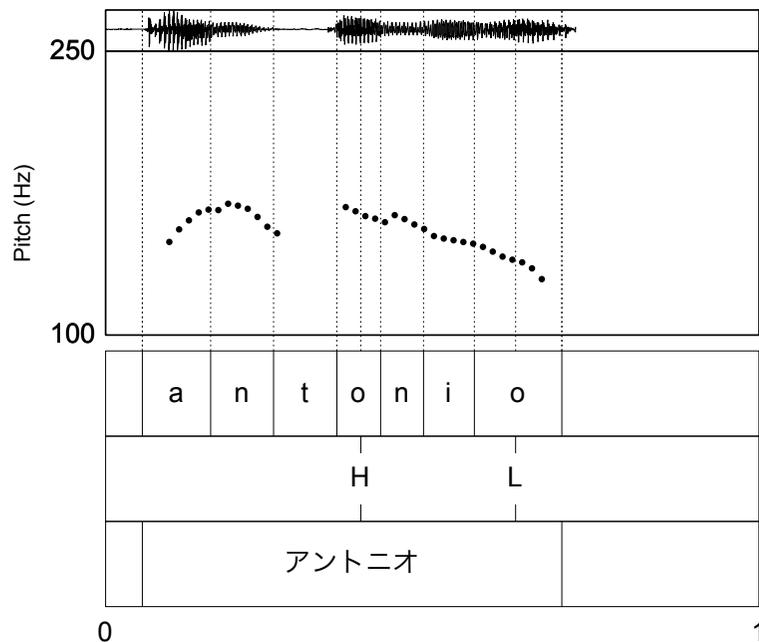
# Hの転移 (Shift) 4拍語

## • 2拍目H



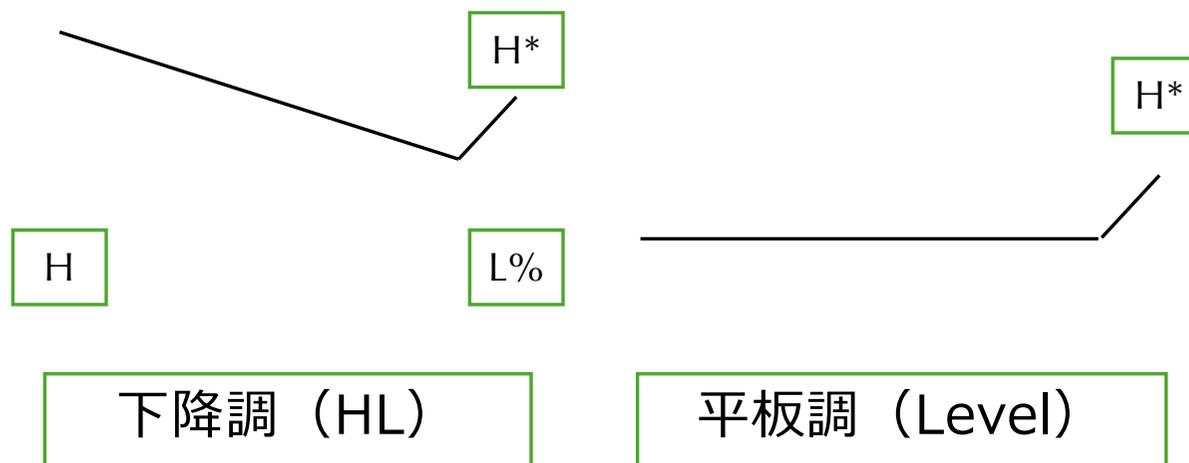
# Hの拡張 (Spread) 5拍語

## • 3拍目までH



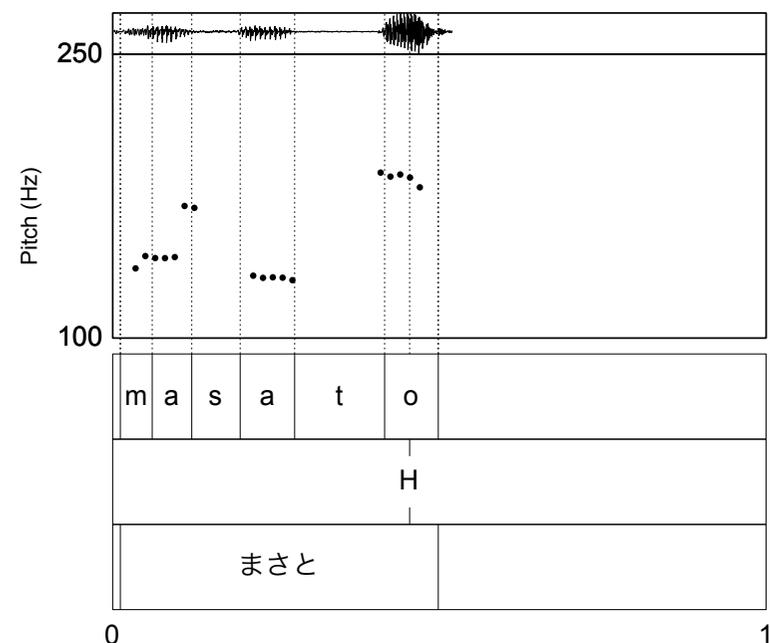
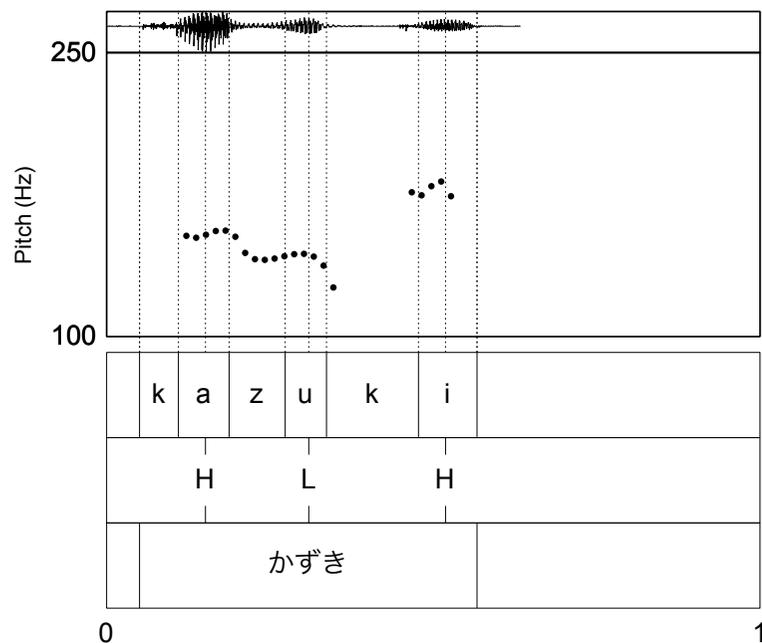
# 句末のピッチアクセント (Hirosawa 2024)

韻律指定の種類	表記	指定箇所
句アクセント	H	語頭
境界音調	L%	語末
ピッチアクセント	H*	語末



# ピッチアクセント (3拍語)

## • HLパターンと平板パターン



## 語のメロディまとめ

韻律指定の種類	表記	指定箇所	備考
句アクセント	H	語頭	次拍に転移可 後続拍に拡張可
境界音調	L%	語末	
ピッチアクセント	H*	語末	

# 予測されないパターン

韻律指定の種類	表記	指定箇所	備考
句アクセント	H	語頭	次拍に転移可 後続拍に拡張可
境界音調	L%	語末	
ピッチアクセント	H*	語末	

以下のようなピッチパターンは予測されない

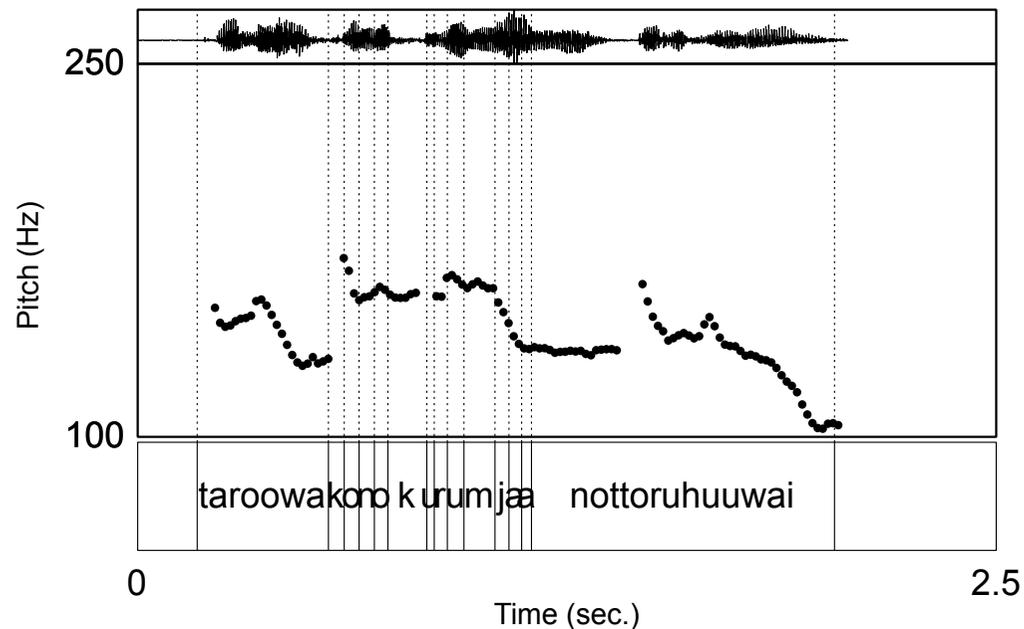
下降 + 平板音調

上昇音調

# 3. 韻律と統語構造

# 複数語からなる項のピッチパターン

- 台形音調 (LH ··· HL) が見られる。

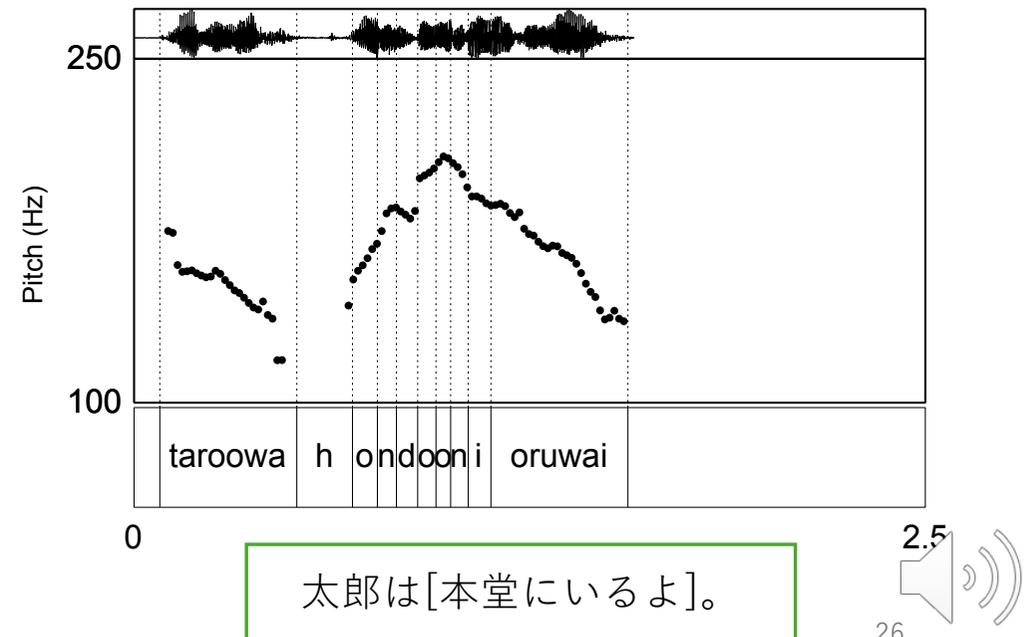
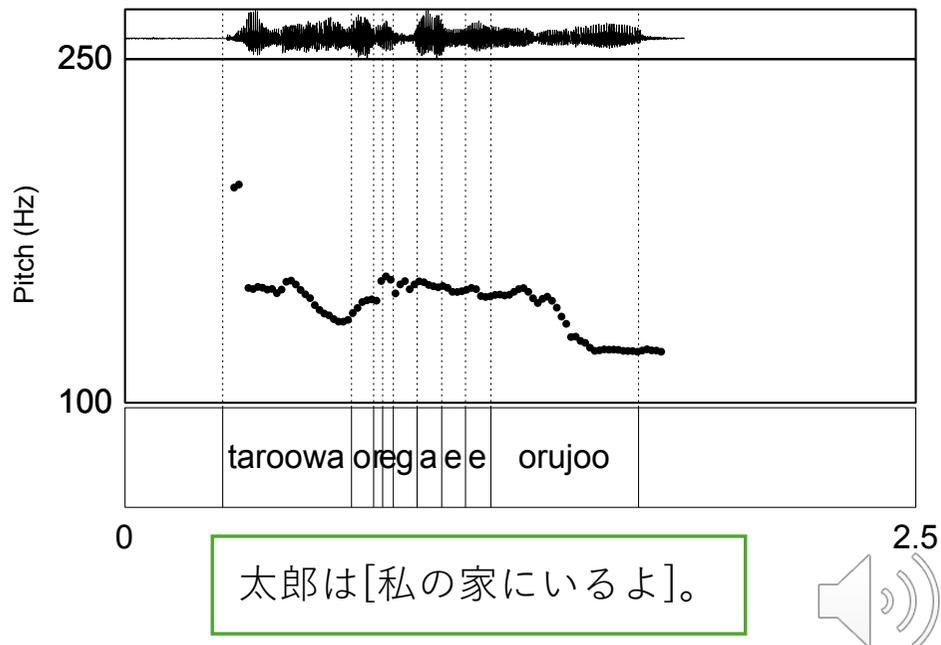


太郎は[この車に]乗っているようだよ。



# 複数語からなる述語のピッチパターン

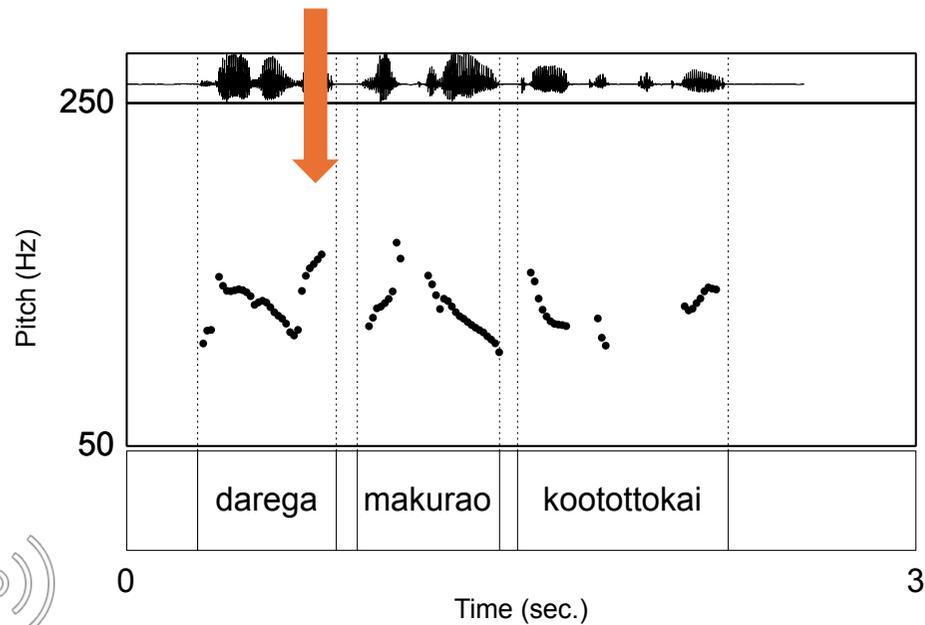
- 台形音調および山型音調（\*いずれも焦点）



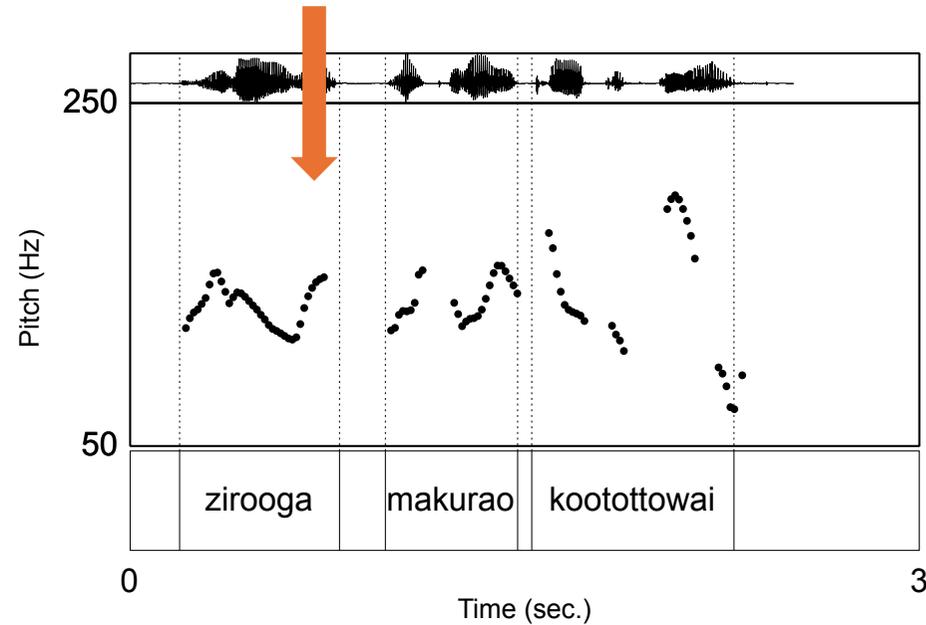
# 4. 韻律と情報構造

# 項焦点

- H\*で標示される。



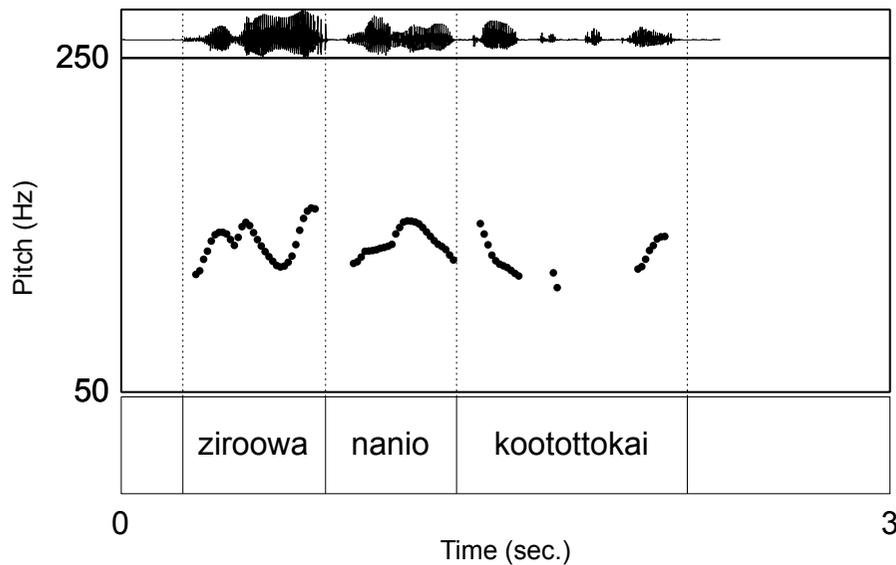
Q: 誰が枕を買ってるの？



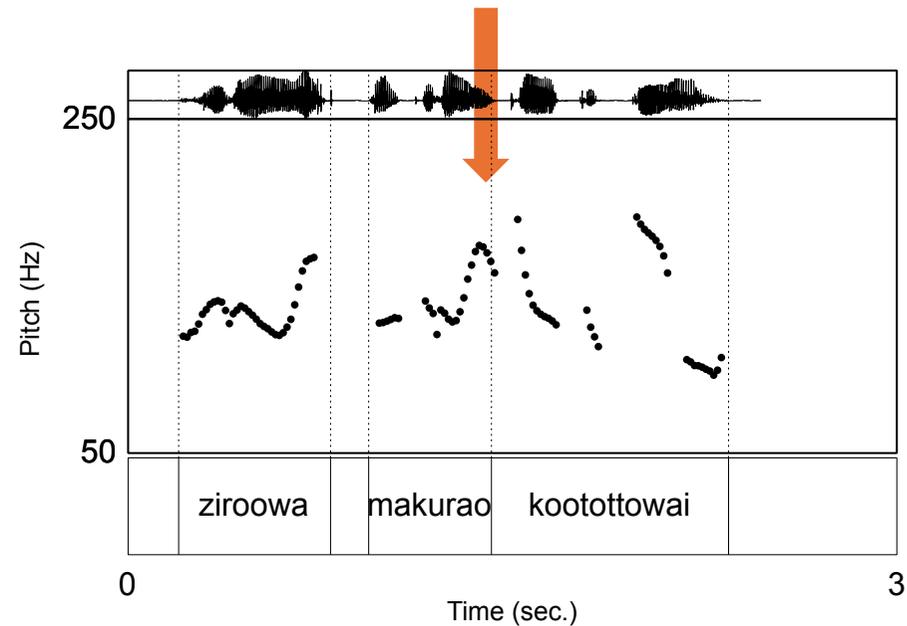
A: 次郎が枕を買ってるんだよ。

# 項焦点

- H\*で標示される（常にではない）



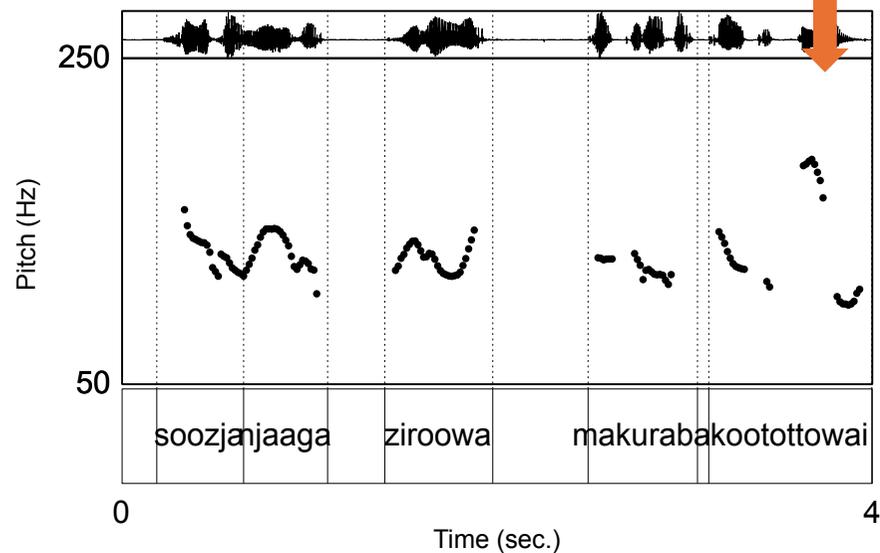
Q: 次郎は何を買ってるの?



A: 次郎は枕を買ってるんだよ。

# 述語焦点

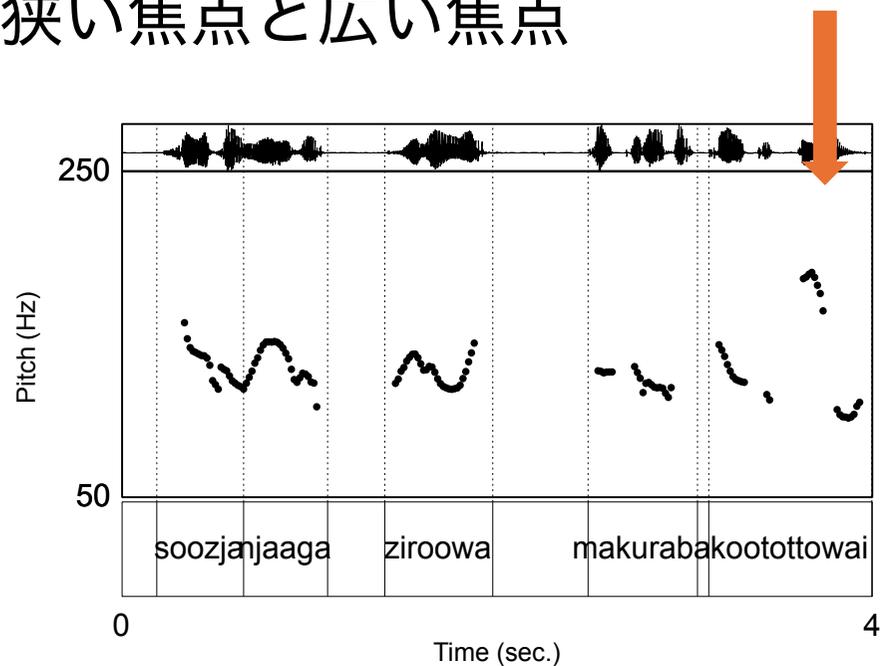
## • 長距離上昇 (前川1997)



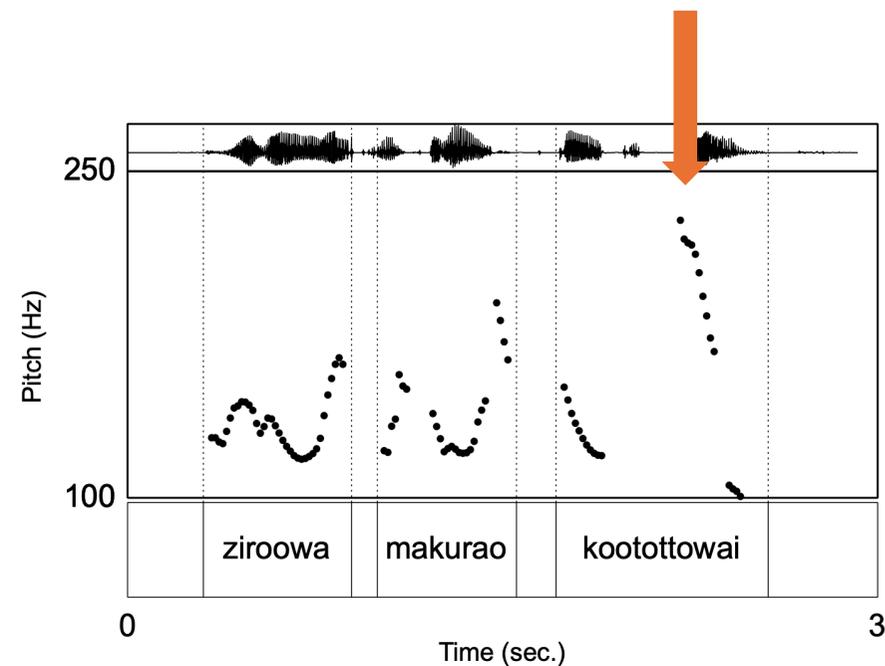
(次郎は枕を売ってるの?) に対して  
そうじゃないよ。  
次郎は枕を買ったんだよ。(述語焦点)

# 述語焦点

## ・狭い焦点と広い焦点



(次郎は枕を売ってるの?) に対して  
そうじゃないよ。  
次郎は枕を買ったんだよ。(述語焦点)

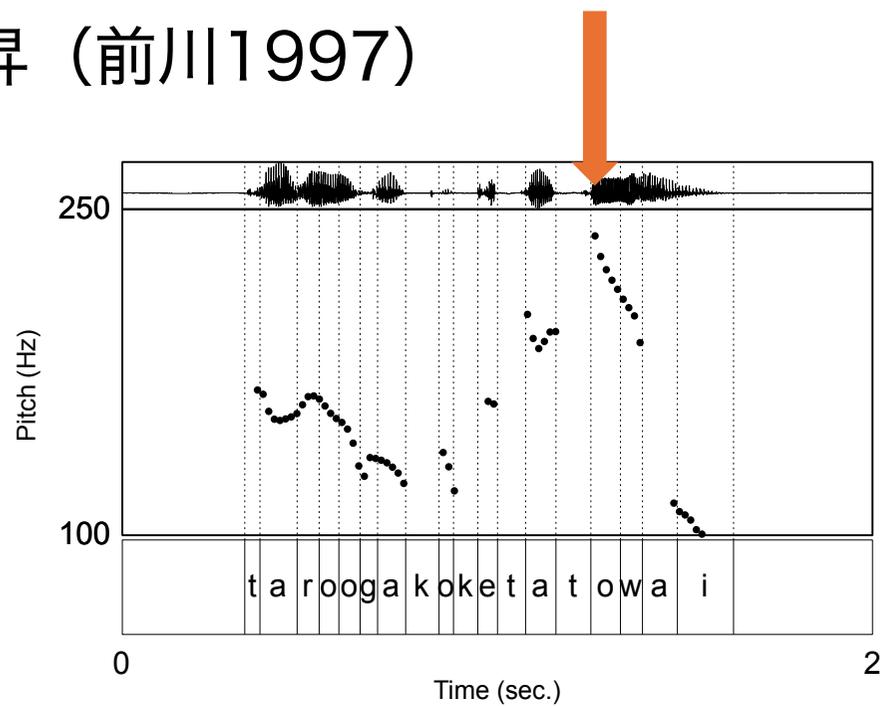


(次郎は何をしているの?) に対して  
次郎は枕を買ったんだよ。(述語焦点)



# 文焦点

- 長距離上昇 (前川1997)

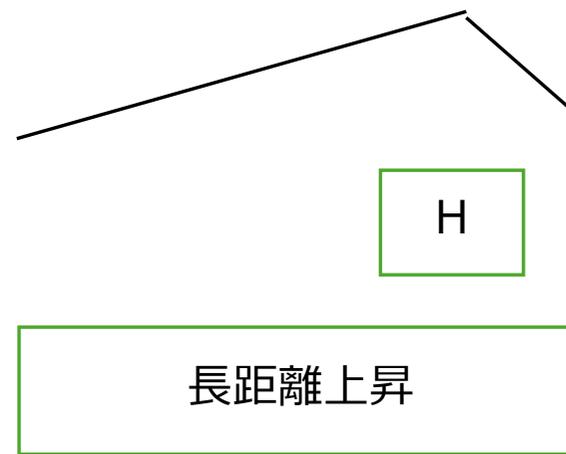
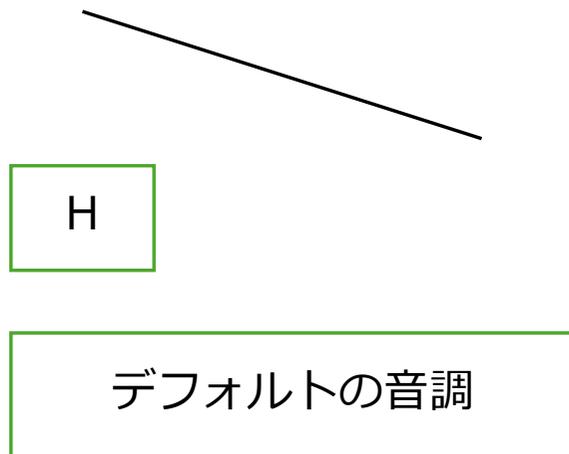


(「びっくりしてるけどどうしたの?」に対して)  
太郎がこけたんだよ。(文焦点)



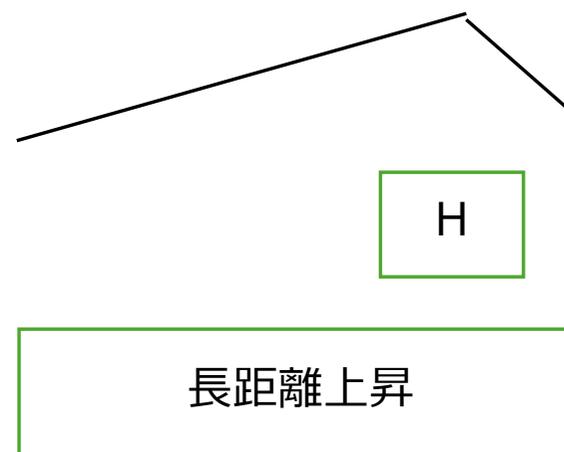
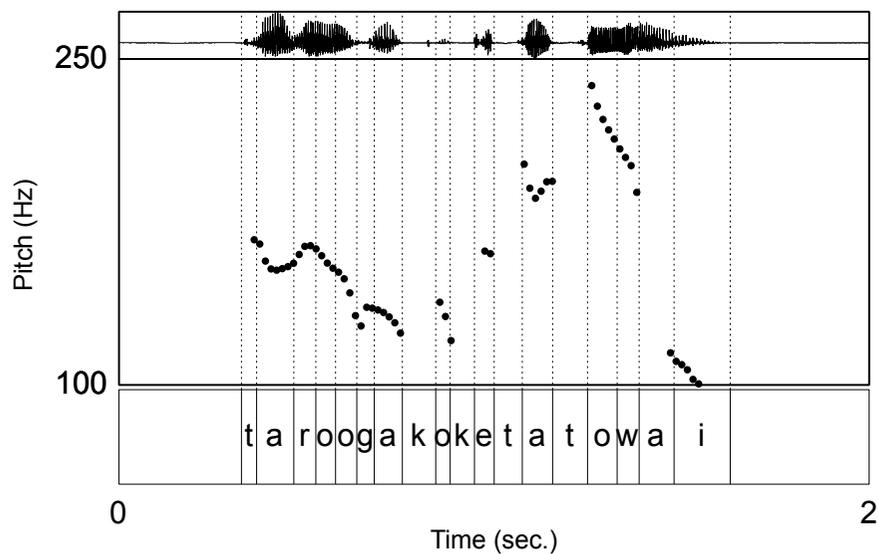
# 今後の課題

- 無標がHLでLH（長距離上昇）が情報構造上有標なら
  - 焦点領域の最後に焦点マーカをつけ、「Hが来ない」ことによって情報構造上の意味がある（アラートになっている）可能性



# 今後の課題

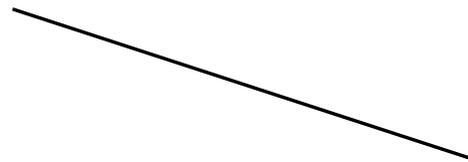
- 長距離上昇は焦点ではなく  
形式名詞toに起因する可能性



# まとめ

椎葉方言は無アクセント方言だが、ピッチパターンに一定の制約

1. 語は単独発話ではHL（下降調）またはLevel（平板）



下降調 (HL)



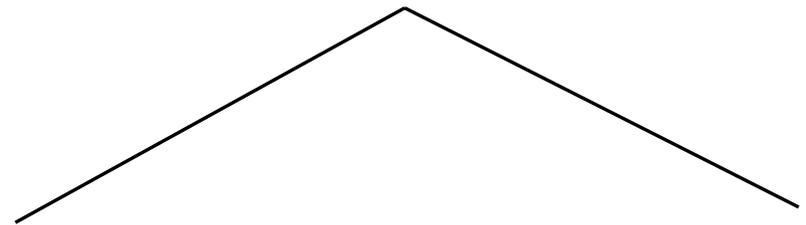
平板調 (Level)

# まとめ

2.複数の語から成る構造体では、台形音調と山型音調



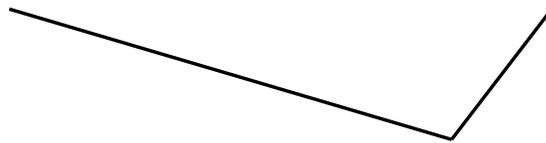
台形音調



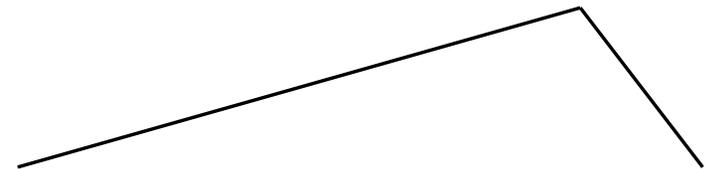
山型音調

# まとめ

3.焦点は項では文節末の卓立、述語では末尾にかけての長距離上昇



項焦点



述語焦点

Hirosawa Naoyuki (2024) Prosodic phrase in accentless dialect can take two Hs. The 9th Asian Junior Linguistics Conference. 14 December 2024.

金田一春彦 (2014) 「アクセント分布図」 金田一春彦・秋永一枝 (編) 『新明解アクセント辞典』 第2版

郡史郎 (2006) 「熊本市および周辺の非定型アクセント方言における語音調と音調句の形成」 『音声研究』 10(2) : 43-60.

前川喜久雄 (1997) 「アクセントとイントネーションーアクセントのない地域」 『諸方言のアクセントとイントネーション』 97-122. 東京 : 三省堂.

上野善道 (1989) 「日本語のアクセント」 『講座日本語と日本語教育, 日本語の音声 音韻(上)』 2: 176-205.